

「神奈川県がんセンター総合整備について」に関する質問回答書

No	頁	該当箇所				タイトル	質問	回答
		I	1	(1)	ア			
1	21	III	2	(5)	ア	産学公の連携によるがんの研究	産学公の連携によるがんの研究の促進についての具体的な方針、研究対象等についてお知らせいただけるでしょうか。	産学公の連携によるがんの研究の促進については、平成18年に設立した「神奈川がん臨床研究・情報機構」を中心として取り組むこととしています。詳細は、「機構」ホームページ（ http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/byouin/gan/kikou/top2/kikoutop21.html ）をご覧ください。
2	23	IV	1			特別室	「一般病棟のうち一つに特別室(有料個室2室分の規模)を1室用意する」とありますが、この特別室は特別個室を意味するものと考えて良いでしょうか。また6病棟ある一般病棟のうち一つの病棟に設けるとことと判断して良いでしょうか。	前段、後段とも、ご質問のとおりです。
3	25	IV	2			外来診察室	「機械による呼出システム等を設置する」とありますが、導入費用については県の負担と認識してよろしいでしょうか。ご教示願います。	システムは県で調達し、モニター、表示器は事業者の負担を想定しています。
4	25	IV	2			新病院における外来診療体制(案)	「ブロック別診療科配置構想」について、精神科においてもブロックに集約されていますが、精神科については、その特性から単科対応とする病院も多く見受けられますが、本件事業においてはその点考慮する必要はないと認識してよろしいでしょうか。ご教示願います。	ご質問のとおり、考慮する必要はありません。
5	27	IV	3	(1)		手術室の運用	中央ホール型の平面計画とし、一足制にて運用するとあります。病棟からBED搬送された患者の手術台への乗換えはどこで実施される計画となりますか。	手術室への入室は、原則として歩行入室とし、ベッド搬送の場合は手術室で乗せ換えることとします。
6	27	IV	3	(1)		手術室の整備・運用方針	「年間5,000件の手術に対応可能な規模とする」とありますが、次ページ(2)の短期滞在手術の年間症例予測表の総数815件は、5,000件の内数と理解して宜しいでしょうか。	ご質問のとおりです。
7	40	IV	2			整備・運用方針	「番号受付機を導入する」とありますが、導入費用については県の負担と認識してよろしいでしょうか。ご教示願います。	事業者の負担とします。
8	49	V	2			新病院情報システム(案)	検査システム関連の構成図内の「検査システム」と「検体検査システム(SPC)」の相違を具体的に教示ください。	48ページにも同様の図となっていますが、「検査システム」は検査は事業者側と病院事業庁側で行う検査があり、それらをオーダーリングシステム(電子カルテ)と接続する際に経由するシステムとなります。新病院では、夜間は病院事業庁職員が通常の検体検査を行うため、そのシステムも含まれています。
9	49	V	2			新病院情報システム(案)	「検体検査システム(SPC)」の対象範囲に、血液形態検査の分野が含まれる場合は、対象の検査分野(検査項目)の開示をお願いします。	対象範囲は、業務要求水準書のP.54～62ページに記載された項目になりますが白血病患者の末梢血に関しては、がんセンター職員が顕微鏡で検査したのち、数値を事業者側のシステムから入力いただくこともあります。